



所 管	教育委員会事務局 文化課		
担 当	安藤	問い合わせ	0573-26-2153
所 管	中山道広重美術館		
担 当	宮下	問い合わせ	0573-20-0522

報 道 機 関 各位

企画展「浮世絵東海道旅の空―隸書東海道を中心に―」 の開催について

企画展を下記のとおり開催しますので、お知らせします。広く周知いただくとともに、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 会 期 令和8年1月22日（木曜日）から3月29日（日曜日）
前期：1月22日（木曜日）から2月23日（月曜日・祝日）
後期：2月27日（金曜日）から3月29日（日曜日）
開館時間：午前9時半～午後5時（入館は午後4時半まで）
休館日：毎週月曜日（2月23日を除く）、2月12日、展示替え期間（2月24日～26日）
2. 場 所 中山道広重美術館 展示室1
3. 料 金 一般520円（20名以上の団体は420円）
※18歳以下無料
※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1人は無料
※毎週水曜日はフリーウエズデー、毎週金曜日はフリーフライデー（共に終日観覧無料）
※毎月第1日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料
4. 内 容 弘化4～嘉永5年（1847-52）に広重が手掛けた「東海道」は、作品名が隸書体で書かれていることから「隸書東海道」と通称されます。「東海道五拾三次之内」（通称、保永堂版東海道）の大ヒットから10年余りが経ち、画業の円熟期に入った広重による「保永堂版東海道」の後継作品ともいえるシリーズ



市公式キャラクター
『エーナ』



です。景色を広角で捉えた構図と丁寧かつ鮮やかな摺り、街道を行き来するさまざまな人々の姿を通じて、東海道の旅路を魅力的に描き出しました。本展では「隸書東海道」全55図のみならず、他の東海道揃物からも出品。皆さまを江戸時代の旅の空へご案内します。

5. 主 催 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館

6. 本展の見どころ

（1）摺師の丁寧な仕事ぶりが光る「隸書東海道」

本揃物の特徴の一つは、鮮やかな色彩と摺りの技術の高さです。ぼかし摺りを駆使し、画面に自然な奥行きと、透明感までをももたらしめます。当館で所蔵する作品は摺り・保存状態いずれも良好なため、「隸書版東海道」の持ち味を存分に味わっていただけます。

（2）「隸書東海道」の他、広重の描いた東海道をシリーズを横断して展示

広重は生涯にわたって東海道を描き続け、その数は20を超えるといわれます。本展では「隸書東海道」の他、広重の代表作である「保永堂版東海道」や、画中に狂歌の書き込まれた中判の「東海道五拾三次」（通称、狂歌入東海道）、縦構図の東海道揃物である「五十三次名所図会」（通称、縦絵東海道）などからも出品。異なるシリーズの作品を見比べることができます。



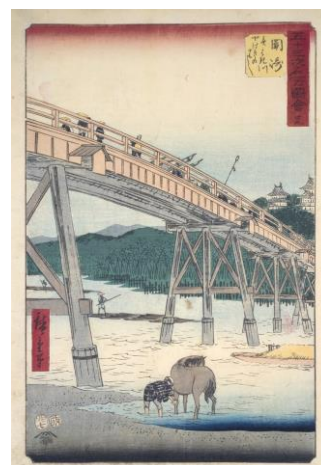
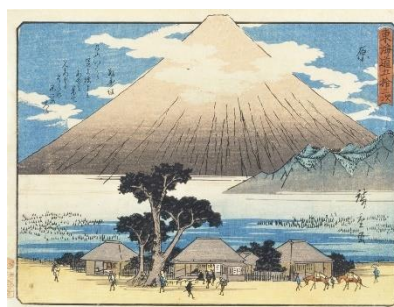
市公式キャラクター
『エーナ』



恵那市役所報道発表資料

令和8年1月7日

7. 主な出品作品



- 上段左：歌川広重「東海道 十一 五十三次 箱根」当館蔵（前期展示）
上段右：歌川広重「東海道 四十四 五十三次 四日市」当館蔵（後期展示）
下段左：歌川広重「東海道五拾三次之内 庄野 白雨」当館蔵（後期展示）
下段中：歌川広重「東海道五拾三次 原」当館蔵（前期展示）
下段右：歌川広重「五十三次名所図会 卅九 岡崎 矢はき川やはきのほし」
当館蔵（後期展示）

8. 関連イベント

（1）学芸員による作品ガイド

日時：前期2月1日（日曜日）、後期3月1日（日曜日）

各日午前10時半から30分程度

場所：展示室1（1階）

（2）美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日時：随時（要事前予約）



浮世絵 東海道旅の空

企画展

Exhibition
Traveling the Tōkaidō in Ukiyo-e:
A Focus on the Reisho Edition

Period 1: January 22nd - February 23rd

Period 2: February 27th - March 29th

会期

1.22(木) - 3.29(日)

前期 1.22(木) - 2.23(月・祝)

後期 2.27(金) - 3.29(日)



中山道広重美術館

Nakasendo Hiroshige Museum of Art

— 隸書東海道を中心に —

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

○毎週水曜日は観覧無料、フリーウェンズデー

〈スポンサー〉(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ

●毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー

〈スポンサー〉(株)銀の森コーポレーション、カネコグループ

(カネコ・楽園住宅・木KeyPoint)、(株)サラダコスモ ちこり村

Webミュージアムショップ



公式ホームページ



hiroshige_ena

hiroshige_ena_museum

fnakasendohiroshigemuseumofart



会期

1.22(木) - 3.29(日) 前期 1.22(木) - 2.23(月・祝)
後期 2.27(金) - 3.29(日)

観覧料金 一般520円(20名以上の団体は420円)

※18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

休館日 毎週月曜日(ただし2.23は除く)、2.12(木)、2.24(火)～26(木)は展示替えのため休館

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

江戸時代、日本橋～三条大橋間に53の宿場を有した日本の大動脈・東海道。山間の道を取る中山道とは異なり、道中では茫洋たる太平洋や古来人々に親しまれてきた霊峰・富士山など、変化に富む佳景を楽しむことができました。また、箱根や薩埵などの峠の難所、徒歩渡しや舟渡しを要する河川の難所、七里の渡しといった海路もあり、広重はさまざまな顔を見せる東海道をテーマに、数多くの作品を生み出しました。

本展でご紹介する「東海道」は、作品名が隷書体で書かれていることから「隷書東海道」と通称されます。天保4～6年(1833-35)頃に出版された「東海道五拾三次之内」(通称、保永堂版東海道)の大ヒットから10年余り。弘化4～嘉永5年(1847-52)に手掛けられた本揃物は、画業の円熟期に入った広重による「保永堂版東海道」の後継作品ともいえるシリーズです。横大判の画面に景色を広角に捉え、鮮やかな色彩と摺りの技術の高さにより、風光明媚な東海道の旅路を生き生きと描き出しています。

なお、本展では「隷書東海道」の他、広重の代表作である「保永堂版東海道」や、画中に狂歌の書き込まれた中判の「東海道五拾三次」(通称、狂歌入東海道)、縦構図の「五十三次名所図会」(通称、縦絵東海道)などからも出品。異なるシリーズの作品を見比べながら、当時の人々が目にしたであろう東海道の旅路をお楽しみください。

歌川広重「東海道 十一 五十三次 箱根」

大判錦絵 弘化4～嘉永5年(1847-52) 当館蔵

東海道中指折りの難所である箱根峠。石畳の敷かれた峠道を、大きな松明を手にした駕籠の一行が上っていきます。箱根の関所は明け六ツ(午前6時)から暮れ六ツ(午後6時)まで開いており、画中の一行も開門時間に合わせて夜道を急いでいるのかもしれません。最後尾の足が担いでいる両掛には、版元を示す「○に清」が染め抜かれています。



【関連イベント】

◇学芸員による作品ガイド

日時 前期2.1(日) 後期3.1(日) 各日午前10時30分～(30分程度)

場所 展示室1(1F)

◇美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日時 随時(要事前予約)

Museum
Shop
News

ミュージアムショップから

アクリルスタンド新商品発売いたします

ご好評いただいております当館オリジナルのアクリルスタンドに、「保永堂版東海道」の御油が新登場いたしました。旅籠の留女に背負った風呂敷包みを掴まれたおじさんは、苦しそうなお表情です。他にもいくつか種類がございますので、来館記念に、また家族や友人へのお土産にいかがでしょうか。

右上: アクリルスタンド(小)御油 550円

右下: アクリルスタンド(大)塩名田のおじさん 750円(すべて税込)

アクリルスタンド(大)塩名田のおじさん 7.5×7.5 cm →



←新発売!
アクリルスタンド(小)
御油
5×5 cm
※画像はイメージです。

「隷書東海道を中心に」



中山道広重美術館

Nakasendo Hiroshige Museum of Art

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1
TEL (0573) 20-0522 FAX (0573) 25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>
ウェブミュージアムショップ↓
<https://enahiroshigemuseum.stores.jp>